

非化石価値取引について

2026年6月5日

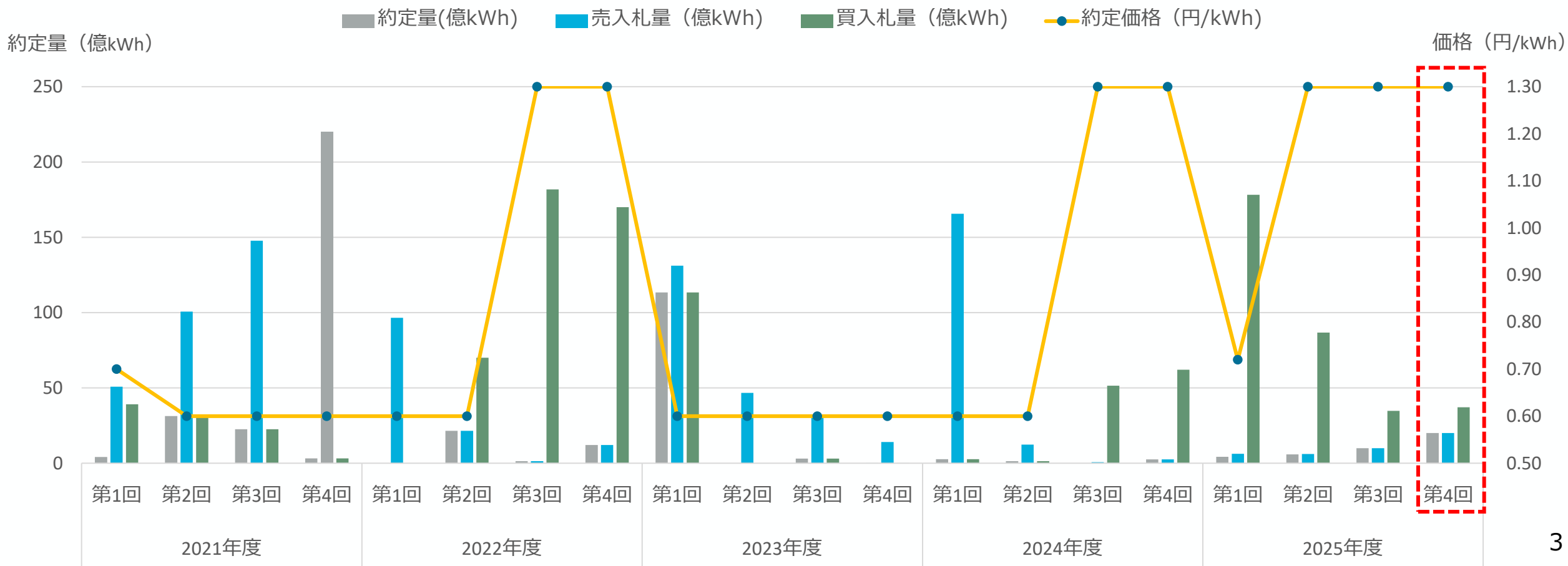
資源エネルギー庁

第4回オークション結果

高度化法義務達成市場（非FIT再エネ指定なし）

- 第4回オークションは第3回と同様、売入札量（約20億kWh）が買入札量（約37億kWh）を下回る状態が継続したため、約45%が未約定となった。なお、買入札量（約37億kWh）の全量が代替調達の条件を満たす価格（1.3円/kWh）で入札していた。

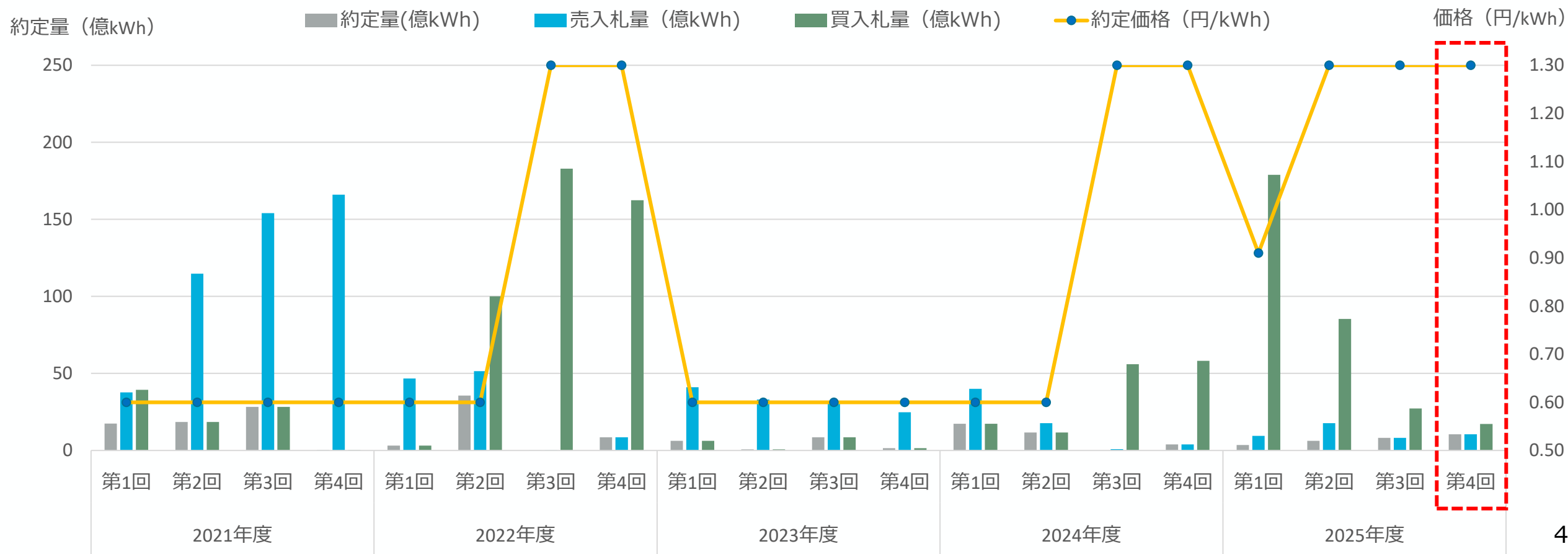
高度化法義務達成市場（非FIT再エネ指定なし）取引量推移



高度化法義務達成市場（非FIT再エネ指定あり）

- 第4回オークションは第3回と同様、売入札量（約10億kWh）が買入札量（約17億kWh）を下回る状態が継続したため、約40%が未約定となった。なお、買入札量（約17億kWh）の全量が代替調達の条件を満たす価格（1.3円/kWh）で入札していた。

高度化法義務達成市場（非FIT再エネ指定あり）取引量推移



【参考】代替調達の適用について

第113回 制度検討作業部会
(2026年4月3日) 資料4

代替調達の適用要否と適用条件について

- 前述のとおり、アンケート結果等から推計すると、2025年度の想定需給バランスは1を下回る可能性がある。
- 2024年度におけるFIT証書による代替調達手段の適用については、確実に、需給バランスが1を下回るかを明言することは難しいが、状況が明らかになった後に代替調達の適用を判断するのでは、タイミングが遅きに失し、小売電気事業者の義務達成に大きな影響を与えることが想定されるとして、非化石証書の需給状況等に関するアンケート結果を元に、代替調達を認めることとした。
- 2025年度においても、同様の考えに基づき、当該アンケート結果を元に、代替調達を認めることとしてはどうか。
- また、代替調達の適用については、第4回非FITオークション（再エネ指定あり、及び再エネ指定なしの両方）において、必要調達量を1.3円/kWhで入札することを条件に、認めることとしてはどうか。

2025年度 FITおよび非FITオークション スケジュール

	2025年							2026年					
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
非FITオークション			# 1			# 2		# 3				# 4	
FITオークション			# 1			# 2		# 3				# 4	
代替調達実施判断													
事業者アンケート													

再エネ指定あり/なしの両方で、必要調達量を1.3円/kWhで入札することが条件

代替調達は第4回（最終）オークションでのみ実施可能

★ アンケート結果から需給バランスを試算し実施を判断

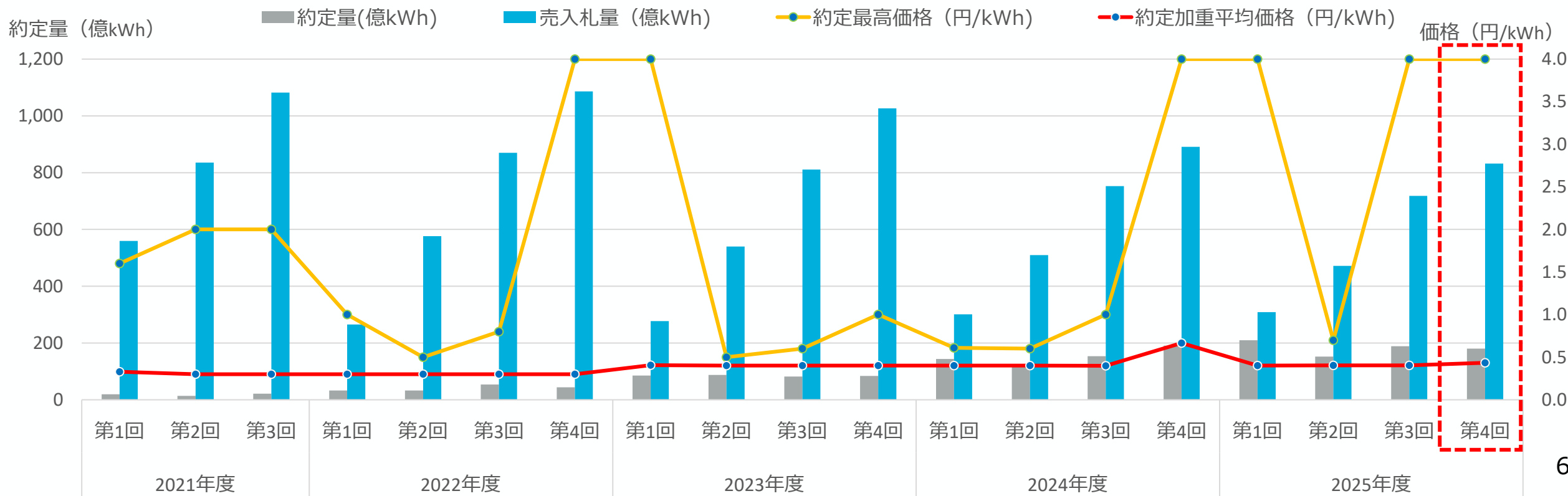
再エネ価値取引市場 (FIT)

- 2025年度の約定量 (約730億kWh^{※1}) は昨年度の約定量 (約600億kWh) よりも増加した。
- 代替調達を認めたことにより、第3回よりも約定加重平均価格 (0.44円/kWh) は上昇したが、売入札量が買入札量を上回るという状況はこれまでと変わらず、**代替調達以外の市場取引への影響は限定的であったと言えるのではないか**^{※2}。

※1 代替調達の条件 (1.30円/kWh以上で入札) を満たす約定量は、約7億kWhであった。

※2 代替調達以外の買入札も全量が約定しているため、影響は限定的であったと評価。

再エネ価値取引市場の推移



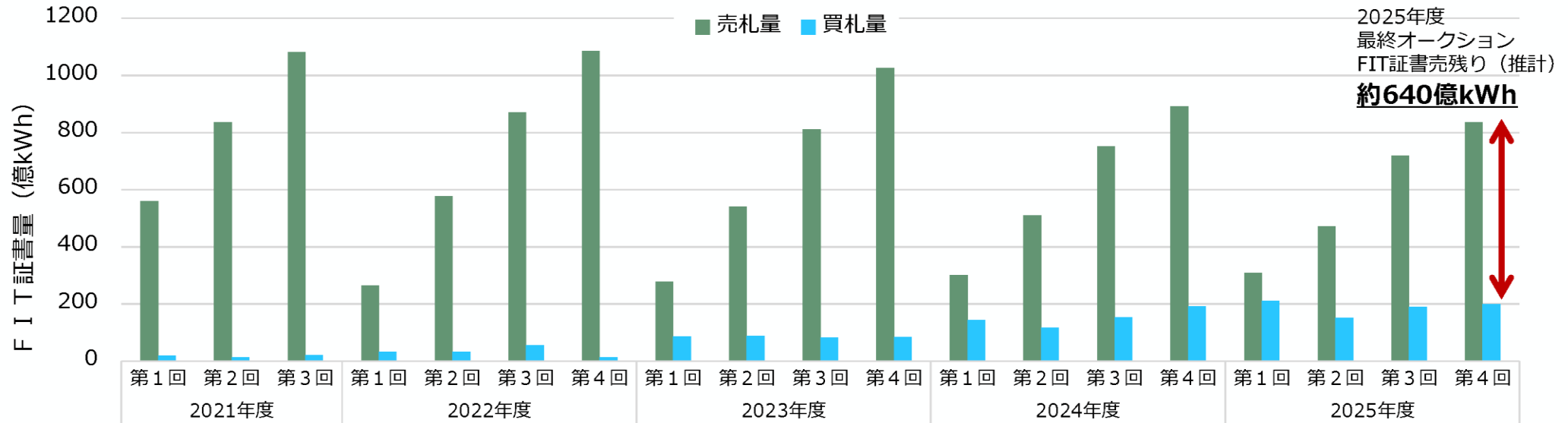
【参考】代替調達による市場への影響（当初想定）

第113回 制度検討作業部会
(2026年4月3日) 資料4

代替調達によるFIT市場への影響

- FIT市場の需給バランスは21年11月の初回オークション以来、現在ではまだ供給が需要を上回っており、FIT証書供出量の急激な減少や需要の大幅な増加は現時点で見込まれていない。
- また、最終オークションにおける**FIT証書の売残りは約640億kWhと推計**される。一定の仮定の下で、非FIT証書の需給ひっ迫が生じた場合における**代替調達の想定必要量を試算すると、最大で、約130億kWh。**そのため、FIT市場への影響は限定的だと評価している。

FIT市場の需給バランス推移



注) 2024年度第4回オークションの買入札量は、代替調達分(約56億kWh)を含む